

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	子育て支援		
担当者(Instructors)	松本 亜香里	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■ 授業の目的と概要(Course purpose/outline)

現代の子育て家庭の現状と課題を踏まえて、本国における子育て支援施策と子育て支援の現状を理解する。また、子育て支援の機能と役割を理解し、子どもの最善の利益を考慮した支援のあり方や展開過程について考えられるようにする。

## ■ 授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。授業の内容によって、事前学習をもとにディスカッションおよびグループワークを取り入れ、相互の学びを共有し見識を深める。

## ■ 各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	子育て支援とは何か	子育て支援を学ぶ意義と目的を理解する。	<input type="checkbox"/>
第2回	現代の子育て家庭の現状と課題 子育て支援の意義と必要性	現代における子育て家庭の現状と課題を理解したうえで、子育て支援の意義と必要性を理解する。	<input type="checkbox"/>
第3回	子育て支援施策と子ども・子育て支援新制度 三法令における子育て支援の位置づけ	子育て支援に関する諸制度について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	保育所ならびに幼稚園が行う子育て支援	保育所ならびに幼稚園で行われている子育て支援の方法やニーズについて学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	地域で展開される子育て支援	子育て支援を行う地域資源について、その役割や実情を理解する。	<input type="checkbox"/>
第6回	子育て支援の実際①(グループワーク)	保育所・幼稚園ならびに地域資源で行われている子育て支援について、グループに分かれてより具体的に調べてまとめる。	<input type="checkbox"/>
第7回	子育て支援の実際②(グループワーク)	グループごとにまとめた内容について整理する。	<input type="checkbox"/>
第8回	子育て支援の実際③(グループワーク) まとめ	グループでまとめた資料をもとに、それぞれの担当項目について全体で発表を行う。 発表後、全体の学修を振り返り、それぞれの内容を説明できるようにする。	<input type="checkbox"/>
第9回			<input type="checkbox"/>
第10回			<input type="checkbox"/>
第11回			<input type="checkbox"/>
第12回			<input type="checkbox"/>
第13回			<input type="checkbox"/>
第14回			<input type="checkbox"/>
第15回			<input type="checkbox"/>

## ■ 授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習として、毎回の授業内容を調べておくこと(2時間程度)。授業後は、各回の内容を整理しておくこと(2時間程度)。

## ■ 課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された課題に対してのコメントを行うことで、フィードバックの一助とする。

## ■ 授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	保育者になるために必要な基礎的な知識力と実践力を身につけている。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	保育現場に存在する多様な問題について提示した課題に取り組むことに関して、自分で考え、表現することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> グループワークの参加度や成果物とその発表をもって評価する(50%)。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年告示、内閣府)	
2		
3		
4		
5		